

臨床研究「グリオーマにおける化学療法感受性の遺伝子指標の検索とそれに基づくテーラーメイド治療法の開発」について

筑波大学附属病院脳神経外科では、標題の臨床研究を実施しております。
本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

乏突起膠腫の染色体上の欠損の有無の検査を含む遺伝子解析を実施し、化学療法の選択を検討する予定です。さらにそれ以外のグリオーマに関しても臨床的、病理学的、分子生物学的および遺伝学的解析を行い、診断、治療の向上に貢献する新しい診断方法と治療法を開発することを目的としています。

② 研究対象者

1. 倫理審査委員会承認日以降に当院でグリオーマの手術を実施され、すでに本研究への試料提供に同意された患者さん
2. 昭和 60 年 1 月 1 日以降から倫理審査委員会承認日までに、当院においてグリオーマの治療を実施された患者様で、手術で摘出された腫瘍組織標本の残余および臨床情報の記録が残っている患者さん

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～令和 8 年 3 月 31 日まで実施の予定です。

④ 研究の方法

腫瘍組織の遺伝子解析を実施して、患者さんの臨床情報との比較を行い、抗がん剤に対する反応性との関連性を検証します。

腫瘍組織から培養細胞を樹立して、細胞の特性の解析を行い、新しい治療薬・治療法を開発を行います。

各種の臨床情報、MRI 等の画像診断結果、病理診断結果等と遺伝子解析情報との関連性を検討し、グリオーマの特徴を解析します。また、より高精度の解析を行うため、人工知能（AI）を用いた解析も実施する予定です。

⑤ 試料・情報の項目

利用する試料は、手術で摘出され、临床上必要な検査に使用した残余のグリオーマ組織の一部です。

利用する情報は、基本情報（年齢、生年月日、性別、グリオーマ発生部位）、検体採取手術時

の情報、治療内容、治療後の経過、放射線診断結果（CT・MRI画像、PET画像等）、血液検査結果、病理診断結果です。

⑥ 試料・情報の第三者への提供について

利用する情報は、匿名化したうえで研究代表者に電子的配信で提供されます。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

研究代表者：独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 臨床研究センター 金村 米博

⑧ 研究機関名および研究責任者名

別紙記載

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：脳神経外科・松田真秀

電話・FAX：029-853-3220・029-853-3214

平日 9～17 時